令和8年度学校だより

みどり

第7号　令和8年11月6日

目指す児童像　◇学び合う子　◇思いやる子　◇きたえる子

～　元気なあいさつ　輝くひとみ　みんなが笑顔　みどりの子　～

【緑小HP】

下野市立緑小学校　鈴木　寧子

<「元気なあいさつ　輝くひとみ　みんなが笑顔　みどりの子」を目指して～>

盛りだくさんの秋、成長の秋です



















後期の開始からあっという間に1ヶ月あまりです。1、2、3年生は楽しみにしていた遠足がありました。バスを見送っているといつも窓からは満面の笑顔で手を振ってくれる子供たちの姿があります。そして、毎回「楽しかったー！」とちょっと眼そうに目をこすりながら笑顔いっぱいで学校に帰ってきます。音楽音読集会では、ステージの上でドキドキしながら一生懸命に発表し、大きな拍手に満面の笑みを広げる子供たち。保護者の皆様にも子供たちの頑張る姿を見ていただくことができました。そして、10月31日（土）には運動会が実施されました。保護者の皆様のご協力と地域の皆様のご理解のおかげでとても充実した素晴らしい運動会になりました。当日を迎えるまでに子供たちは何週間も前から話合いや練習をして準備を進めてきました。毎日のように聞こえる応援団のエールの練習。代表の人たちの開閉会式の練習。日を重ねるごとに頼もしくなってきました。各クラスから出された意見を大切にしながら、実行委員さんたちが考え抜いて決めたスローガン「燃え上がれ！仲間の思いを力に変えて　最後は笑顔な運動会」。なんて素敵なスローガンでしょう。子供たちのこのスローガンにこめた思いを聞いてとても嬉しく温かくなりました。当日はそんな緑小全員の気持ちがつまったスローガンの下、子供たちは最高の笑顔を目指して素晴らしい姿を見せてくれたと感じました。開閉会式に臨む真剣な表情、必死にゴールを目指す一生懸命な走り、音楽に合わせて体全体で表現する姿、友達を応援する声、係の仕事に取り組む頼もしい様子、そしてはじける笑顔。どこを切り取ってもかけがえのない瞬間の連続で胸が熱くなりました。子供たちが最後に見せてくれた笑顔は最高に輝いていました。

行事は通常の学校生活ではない、非日常の環境での生活や活動です。当日お友達と仲良く協力したり、困っているお友達や1年生に優しくできたり、お話を黙って聞くことができたり、お世話になった運転手さんや係の人にあいさつできたり、時間を守ることができたり、ゴミを片付けることができたり、全力を出し切ることができたり、お互いに称え合うことができたり･･･たくさんの「できたこと」はこれまでの学校やお家での生活で身に付けたこと、頑張ったことです。その日だけちゃんとできるわけはありません。日頃から心掛けていたり、努力したり、正しい行いができるようになっているからです。だから、非日常のわくわく（高揚）とドキドキ（不安）が交錯する場面でもちゃんと正しく気持ちのよい行動ができるのです。それが成長です。子供たちは行事を通していつも大きく成長してくれます。引率の職員やお世話になった施設や担当の方から子供たちが立派な態度だった様子を聞くと、とても嬉しく子供たちを誇らしく思います。子供たちが考えながら活発に活動している姿はとても頼もしいです。子供たちが自分たちで考えて活動できるようになるまでには、時間も要しますし失敗もあるかもしれません。同じ指導を何度も繰り返す場合もあると思います。でも、子供たちにとっては、大きな成長につながるものだと考えています。



これからも、日常と非日常を繰り返しながら学校生活は続きます。学年行事や持久走記録会もあります。ぜひ子供たちの姿を通して、これまでお子さんが頑張ってきた様子や日常の活動をお伝えすることができたらと願っています。引き続き、行事はもちろん様々な機会を通して子供たちの主体的な活動を支え成長につなげることができるよう努めてまいります。今後も子供たちを温かく見守っていただきますと幸いです。よろしくお願いします。緑小の成長の秋は深まっています。

<目指す児童像：きたえる子（生き抜く力の育成）を目指して～みんなが笑顔～>

いじめ防止強調月間

6月号でもお伝えした通り、11月は6月に続き2回目の「下野市いじめ防止強調月間」です。「①いじめは絶対ダメ！の再確認をしよう。」「②いじめを生まない温かい学校の雰囲気を高めよう。」の2点が南河内第二中学校区の共通理解事項です。昇降口には二中学区3校の代表の子供たちで考えたスローガン**「お互いの個性を認め合い　笑顔の花を咲かせよう」**が掲示され、子供たちを見守っています。今回も全ての学級で「学級力アンケート」を実施します。アンケートの結果から自分達の学級の「良いところ」に目を向け、前回の結果との変化を確認したり、良さを生かしてよりよい集団をつくるための手立てや更に良さを伸ばす工夫などを話し合ったりします。11月末日からは人権旬間を設定し、「いじめ防止に関する標語」をクラスみんなで話し合って作成する計画もあります。様々な視点や立場から「いじめ防止」について真剣に考えさせ、子供たち一人一人の心の中に「いじめは絶対にダメ。許さない。」という思いを持ち続けられるよう繰り返し指導してまいります。日頃からいじめの未然防止に向け意識を高め、子供たちが安心して安全な学校生活を送

ることができるよう努めてまいります。子供たちが多くの友達と様々な活動を通して生活する中では、いじめに限らずトラブル等が「ゼロ」になることは困難なことだと考えています。また、成長し、将来様々な立場で折り合いを付けながら自分を保ち、自分の力を発揮することができるよう、自立する力を身に付けるためにも、今、学校という集団の中で経験すること学ぶことを子供たちの未来の糧にしていかなくてはならないと考えています。それらを踏まえて、引き続き注意深く見守り、根気強く指導を重ねてまいります。ご家庭でも、この機会に「いじめ防止」について話題にしていただけると幸いです。

<つながりのある学校を目指して　～みんなが笑顔～>





二中学区小中連携推進中　二中学区では様々な取組を通して、小中連携の活動を推進しています。先日は、初めての試みとして、二中「夏椿祭」に緑小全員で訪問させていただきました。子供たちは中学生が準備した催し物やアトラクションに大喜び。パンフレット片手にグループで楽しそうに教室を回っていました。子供たちはそれぞれに、中学生ってすごいな、かっこいいなという憧れや自分たちも来年はここにいるんだなという実感をもったようでした。たくさんのお土産をいただいて、「楽しかったー。もっといたかったな」「来年もまた来たいな」と笑顔いっぱいで帰ってきました。11月は小中が連携して実施する活動が多く設定されています。11月５日（木）には二中の2、3年生が合唱コンクールで歌った歌を聴かせにきてくれました。2年生の澄んだきれいな歌声、3年生の迫力ある力強いハーモニーに子供たちは目を輝かせて聴き入っていました。最後に中学生と一緒に歌った「Believe」。小学生と中学生の歌声が重なり温かいハーモニーとなって体育館いっぱいに響き渡りました。心温まる素晴らしい小中連携の機会になりました。他にも二中の定期テストの日程に合わせて家庭学習強調週間が11月７日（土）から11月13日（金）に設定されています。期間中は「記録カード」への記入を行います。「めあて」の欄を設けて、いつも以上に計画的・意欲的に家庭学習に取り組んでいくよう呼びかけていきます。ぜひ、ご家庭でもお子さんの家庭学習での頑張りを認め励ます機会として生かしていただきますとありがたいです。さらに、11月18日（水）には、「しもつけクリーンday」として南河内第二中学校区合同クリーン活動を実施予定です。これは地域の皆様にもご協力をお願いし、二中学区全域での活動へと広げ、地域とともにある学校作りへとつなげていけたらと考えています。自治会の回覧板でもご案内があったかもしれませんが、お時間の都合がつきましたら、無理のない範囲でのご協力をお願いいたします。活動前には中学生と一緒にお楽しみの時間があります。どんな遊びをするかは小学生が既に話し合っています。このように今月は小中連携強化月間のように活動がたくさんあります。今後12月には二中学区共通日程で体力向上「からだWEEK②」を実施する予定となっています。どの活動も特別なものではなく日常の学習や生活の延長にあるものだと思います。これからもこのように三校が協力して、ご家庭や地域のみなさんのお力添えをいただきながら、子供たちの成長を支えていけたらと考えています。







<目指す児童像：学び合う子（確かな学力の育成）　～輝くひとみ～>



「考えを深める、広げる」について　本校では引き続き対話を通して様々な意見に触れる中で自分の考えを再構築する力を育成しようと研究を進めています。今年度は更に子供たち自身に自分の考えの深まりを実感させるための工夫についても研究しています。先日も外部講師の先生に授業を参観いただき、子供たちの姿を通して、これまでの私たちの研究の成果と課題についてご指導をいただきました。とても勉強になる貴重な機会でした。子供の思考の過程を可視化して自覚させるには様々な手立てが必要です。子供は一人一人よく考えています。授業の様子を見ていると、対話を通して、自分の考えを聞いてもらったり、お友だちの考えや意見を参考にしたり、共有したりしながら、自分の考えを整理したり、考えを深めたり広げたりしている子供たちの姿に出会います。このように子供たちの学びが深まった場面や広がっていく流れを実感する時、子供たちは学ぶことに喜びを感じわくわくしていることがわかります。タブレット端末は、一目で考えの傾向を捉えたり全体を集約したり比較したりするのにとても効果的です。デジタルの強みです。直接言葉を交わしながら、意見を交流する、先生が児童の発言やつぶやきを拾いつなげやり取りをしながらみんなで考えたり共有したりする、ワークシート（思考ツール）を活用して自分の考えに向き合う、これらはアナログの良さです。このように学び方は多様です。それぞれの良さや強みを生かして、組み合わせて授業の質の向上に努めていくことが重要だと考えています。それが今求められている個別最適な学びへとつながると考えています。このようなことを目指して今後も学校課題研究を推進してまいります。







＜お知らせとお願い＞　・11月15日（日）午後2時から3時半の日程で、PTA主催「走り方教室」が実施されます。詳細は10月27日配信のすぐーるをご確認ください。出欠アンケートの締切が11月９日（月）となっています。ご協力よろしくお願いします。

～地域の皆様～　先日は運動会を実施し、12月は持久走大会が実施予定です。校庭での練習が続き放送等でご迷惑をおかけしています。ご理解ご協力いただき感謝申し上げます。今後もよろしくお願いします。

・引き続き本校のHPを時折のぞいてみてください。　http://www.school.shimotsuke.ed.jp/e_school/midori/index.html